

【第2回】

あたらしいことを、はじめやすい都市。
福岡県北九州市。

北九州市長

北橋 健治 氏

「医食住」の揃った北九州市に ようこそ

北九州市というと、皆様何を思い出されるでしょうか。私と同年代の方々であれば、「日本の四大工業地帯の一つ」とか、「鉄鋼業の街」というイメージをお持ちかもしれませんし、「環境産業の先進地」や「無法松の一生の舞台」といったことを思う方もおられるかもしれません。

しかし、現在の北九州市は、もっと「多面的な顔」を持っています。

北九州市長の北橋健治様から、北九州市の歴史、精神文化、産業などについて、じっくりお話を伺いました。

住みやすい街、住んでみたい街 ～北九州市の魅力～

— 本日は、公務大変お忙しい中、インタビューに応じていただき、ありがとうございます。始めに、大変漠然とした質問で恐縮なのですが、北橋市長が感じておられる北九州市の魅力とは、どのようなものなのでしょうか。

北橋 北九州市の魅力を一言で申し上げ

れば、「『医食住』が揃っている街」であることです。北九州市は、「住みやすい街、住んでみたい街」です。一つずつ具体的にご説明していきましょう。

まず、「医療」についてですが、人口10万人当たりの病院数は東京都区部の2倍以上であり、特に小児医療に関しては、全国的にも高い評価を得ています。医療関係者の皆様方のご尽力に加えて、官民の協力体制が、充実した医療提供体制を支えています。

次に「食」ですが、北九州市は、海の幸や山の幸に恵まれており、お刺身の盛り合わせの年間支出額は日本一（総務省家計調査・令和元年～令和3年平均）です。回転寿司では食べログで3年連続日本一になっているお店もあります。また、イワシやサバなどの青魚を糠みそで炊き込む「糠炊き（ぬかだき）」は、江戸時代から続く小倉城下町の郷土料理です。そのほか、門司港の「焼きカレー」や、小倉発祥の「焼うどん」などのご当地

グルメも有名です。

最後に「住」ですが、大都市であるにもかかわらず、地価が手頃で、家を所有するにしても借りるにしても、コストが安い、というメリットがあります。令和2（2020）年度の総務省の調査では、北九州市の借家家賃は、政令指定都市の中で最も安い水準という結果が出ています。

全国一の北九州の夜景

—なるほど。北九州市は、北九州空港や新幹線の小倉駅もあり、出張は日帰りですべて問題ないのですが、できれば1泊して北九州市のおいしい食べ物を味わった方がよさそうですね。

北橋 もし北九州市にお泊まりいただけるのであれば、是非堪能していただきたいのが、北九州市の夜景です。本年3月に行われた「夜景サミット」において、全国約6,100名の夜景観光士による投票によって決定する「日本新三大夜景都市」が発表され、北九州市がランキング1位で認定されました。平成30（2018）年に初めて認定され、今回はランキング1位での再認定となります。北九州市には、「皿倉山」や「高塔山公園」、今年8月に認定された「若戸大橋」など、「日本夜景遺産」が8つもあるほか、「小倉城」や「門司港駅」など 歴史的な建造物のライトアップや「工場夜景」など、豊富な夜景観光資源があります。

—夜の街を出歩くとなると、治安も気になるところですが、北九州市は治安状況が格段に良くなっているのですね。

北橋 そのとおりです。ピークであった平成14（2002）年と比較して、刑法犯認知件数が約87%減少しました。この減少率は、政令指定都市でトップです。平成14（2002）年当時、北九州市内に暴力団の事務所があり、様々な問題を引き起こしていました。私は、「暴力を追放しない限り、北九州市の未来はない」と考え、市長1期目から、警察、行政、市民一丸となって暴力団追放運動に尽力してきました。市長就任から約7年半という長い月日がかかりましたが、ついに平成26年（2014）年に、警察が暴力団のトップを逮捕しました。市民の安全意識の高まりもあり、子供の見守り活動なども行われ、自転車窃盗などの一般犯罪もかなり減少しました。

競い合いながら成長する五つの地域

—話は変わるのですが、北橋市長にお会いするために北九州市を調べたところ、「北九州市は、豊前国と筑前国にまたがっている」ということを知りました。こうした都市は、日本でも珍しいのではないのでしょうか。

北橋 そうかもしれません。北九州市は、昭和38（1963）年に門司、小倉、若

松、八幡、戸畑、のいわゆる「五市対等合併」によって誕生しました。これは、日本だけでなく、世界的に見ても珍しいことです。通常は、大きな都市が周りの小さな市町村を吸収合併するのです。したがって、交通渋滞や、地域の集積も、他の政令指定都市とはかなり趣が異なります。門司は港町、小倉は城下町、若松・八幡・戸畑は工業都市と、それぞれ特徴を有しています。それぞれの地区が、街の個性、魅力、特性というものを大事にしなから、お互いに切磋琢磨をして、市全体として発展を期すというスタイルで60年近く来ました。全国的に見て都市公園が多いのも、それぞれの地区が独立していることによるところが大きいと思います。

移住者に優しい街

—北九州市からは、有名人も数多く出ておられますね。

北橋 はい。作家では、松本清張さんや平野啓一郎さん、漫画家では、松本零士さん、北条司さん、スポーツ関係では、体操の内村航平さん、卓球の早田ひなさん、ラグビーの山田章仁さんなどがおられますし、タレントのリリー・フランキーさんも当市出身です。北九州市の特徴は、明治維新以降、全国から製鉄所などで働くために、文化も言葉も違う人々が集まってできたことだと思います。様々なバックグラウンドを持った人々が集まって、『無法松の一生』にあるような義理と人情に溢れた庶民的な街が生まれました。人材はどの地域からも出ていると思いますが、北九州市では、様々な精神文化が交わる中で、アーティストや作家が生まれてきたのだと思います。当市は、全国から、「ここで腕を磨いて、良い仕事をして、一家を為して、家族で幸福に暮らそう」と考え、移り住んだ人たちが作り上げた街です。したがって、他地域から当市に移ってきた人たちには、非常にフレンドリーな街です。



皿倉山の夜景

ものづくりのDNAが 息づく街

—北九州市の魅力について、大分お話を伺ってきたので、ここで北九州市の産業基盤に関するお話を伺いたいと思います。今更ながらといった質問かもしれませんが、北九州市に企業が立地するメリットは、どのようなものがあるのでしょうか。

北橋 歴史をひも解けば、何故北九州市で産業が根付いたかがわかるといえます。

まずは、充実した物流インフラがあることです。明治20(1887)年頃の日本には、国際貿易港と言えば、横浜港、神戸港、門司港の三つしかありませんでした。筑豊地域で石炭が取れたこともあって、官営八幡製鉄所が明治34(1901)年につくられ、最盛期には4~5万人の正社員の人が24時間勤務に働き続けてきました。操業を続けていく中で、関連協力企業を含めて、技術力や資本力もつき、製鉄業以外の産業が生まれていきました。ものづくりのDNAというのがしっかりと根付いたわけです。洋上風力発電やごみ発電なども、こうしたところから生まれてきたわけです。

物流に話を戻せば、大正3(1914)年には、門司駅新駅舎(現在の門司港駅)が完成しました。現在では、新幹線のぞみの停車する小倉駅があることは皆様ご存じのことでしょう。24時間稼働する北九州空港は、滑走路の延長に向けて動き出しましたし、東九州自動車道の開通により、北九州市は、本州、東九州、西九州の結節点の地位を確立しました。更に、瀬戸内海と日本海に面した東西2つのコンテナターミナルのほか、フェリー・RORO船、在来船に対応する多彩な港湾施設も整備されています。物流という面から見れば、北九州市ほど恵まれた立地地点はない、と言っても過言ではないでしょう。

また、地理的に見れば、北九州市は、成長が期待される「環黄海」に位置していることもメリットの一つです。北九州市は、平成16(2004)年に設立された「東アジア経済交流推進機構」<日本

4都市(北九州・下関・福岡・熊本)、中国4都市(大連・青島・天津・煙台)、韓国3都市(仁川・釜山・蔚山)により構成>の事務局を務めています。

しかし、物流以上に強調したい企業立地のメリットは、理工系を中心とした多くの優れた人材がいる、ということです。まず、北九州市は90万人以上の人口を有しており、通勤圏内である近隣市町村を含めると約200万人がいます。加えて、理工系大学、高専、工業高校などから、毎年約3,000人の人材が輩出されています。産学共同研究もやりやすいというメリットもあります。

—北九州市の資料の中で、北橋市長が、市内の教育機関だけでなく、周辺地域の高専等にも出向いておられる、と書いてあったのを思い出しました。

北橋 企業誘致の決め手は、求める人材が安定的に採用されるかどうかが大きいです。市役所が、企業の人材確保のお手伝いをするために、まず、周辺地域の100くらいある教育機関と「顔の見える関係」を作るため、私が率先垂範して出向いています。

—最近、IT企業をターゲットとして、企業誘致を図っておられる、とお聞きしましたが。

北橋 平成26(2014)年度から、本格的にIT企業誘致を開始しました。IT企



業を誘致するには、まず企業が欲しい人材確保のために、行政が親身になってサポートすることが重要と思っています。また、IT企業が魅力を感じる施設を提供することも必要です。当市では、北九州市の予算を使って、小倉駅前の商業ビルをIT仕様に改装しました。その上で、GMOなどの著名なIT企業に立地していただき、他のIT企業にも「北九州市に立地したい」と思っただけの体制を整えたのです。立地していただいたIT企業の社長さん方が、「北九州市は、生活がしやすいし、人が集まりやすいし、なかなか悪くないよ」という話を、他のIT企業の方々にお話しただけのように、市役所としてもサービスを続けていきたいと思っています。



北橋 健治 (きたはし けんじ)

1953年 兵庫県生まれ
1986年 7月 衆議院議員初当選
1994年 4月 大蔵政務次官
1996年 12月 運輸委員会筆頭理事
1998年 8月 衆議院環境委員長
1999年 11月 大蔵委員会筆頭理事
2005年 11月 地方制度調査会委員
2006年 3月 行政改革特別委員会筆頭理事
2007年 2月 北九州市長
2011年 2月 同市長(2期目)
2015年 2月 同市長(3期目)
2019年 2月 同市長(4期目)

— 市役所のお仕事にDXを活用するため、「デジタル市役所推進室」をおつくりになったと聞きました。こういう姿勢の市役所だから、IT企業に対してもフレンドリーだろうといったアピール効果も、あるものなのでしょうか。

北橋 そのようにつながっていくとすれば、ありがたいことです。DXについては、若干、市長としても無我夢中でやってきたところがあります。市民サービスの向上のためには、DXの推進は不可欠であり、トップである市長のリーダーシップは重要ですが、それだけでは物事は進みません。そのため、DXについて専門的知識を有する方を、総務省から局長級ポストにお迎えして、頑張らせていただいています。

— そのほかに、北九州市に立地するメリットといったものはあるのでしょうか。

北橋 北九州市にお住まいの方以外には、あまり知られていないかもしれませんが、「北九州市は、災害が少ない」という特徴があります。例えば、有史以来、大地震があったとか、火山噴火があったとかいった記録はありません。また、台風が直撃する、といったこともありません。こうした特徴を踏まえて、近年データセンターが立地しています。

「釣月耕雲」こそ理想の生活

— ここで、北橋市長ご自身のお話をお聞きしたいと思います。北橋市長は、衆議院議員を6期お勤めになられた後、平成19（2007）年7月から北九州市長をなさっておられる、と承知しております。そもそも、政治家を志された理由とは、どのようなものだったのでしょうか。

北橋 私は、左翼の各セクトが激しくも

み合っていた時代に大学生活を送りました。資本論などを読みましたが、やはり革命とか独裁ではなく、結論はイギリスとかドイツとか北欧の福祉国家のように、議会を大事にして一步一步という路線が良いと思いました。日本では、自民党一党の政治が続いていましたが、政界再編成の夢にかけて、民社党本部に勤務することとなりました。その後、衆議院議員となり、政界再編成に努力しておりましたが、縁あって北九州市市長選挙に立候補することとなりました。

— 座右の銘といったものがあればお教えいただきたいのですが。

北橋 私は、佐々木良作民社党委員長の下で政策秘書をしており、佐々木委員長の座右の銘である「一日生涯」という言葉を、衆議院議員になってからも使わせていただきました。「一日生涯」とは、「毎日毎日が大事である」という意味なのですが、あるお年寄りから「あと一日しか生きられないようで、何となく寂しいから他の言葉を探してくれ」と言われてしまいました。そこで、別の言葉を探している中で、「釣月耕雲」という言葉を見つけ、以後この言葉を使うようにしています。

— 初めてお聞きする言葉なのですが、どういった意味なのでしょうか。



北橋 世の中の人々は、生活をするために必死で、仕事に追われ余裕などない、というのが普通ですよ。しかし、そうした中で、ふと心にゆとりを持って、月をゆっくり眺めてみるのもいいのではないかと、毎日の実生活を離れて花鳥風月に遊んでみるのもいいのではないかと、といったことだと思います。

— 本日は、お忙しい中大変ありがとうございました。



インタビュー後記

北九州市には、これまで出張で何回か訪れましたが、要件先を訪れるだけで、北九州市の魅力といったものに触れる機会は、ほとんどありませんでした。その意味で、今回のインタビューは、驚きの連続であった気がします。

鉄鋼業を中心とした工業都市のイメージが強かった北九州市ですが、観光客として来てみたい、と思った次第です。皆様に、北九州市の魅力の一端だけでもお伝えできれば、幸いです。

北橋市長は、大変穏やかな方で、私が質問をすると、数秒お考えになった後、極めて分かりやすいご説明をいただきました。私にとっては、楽しいインタビューでした。

聞き手：当協会専務理事
前野 陽一

北九州市データ

県庁所在地：北九州市小倉北区城内1番1号
人口：924,654人(令和4年9月1日現在)
面積：492㎡
交通：飛行機／東京から1時間35分
新幹線／東京駅から4時間48分
(のぞみ利用)
URL：<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

